

## 事業実施報告書

法人名 特定非営利活動法人こどもエコクラブ飯能W

事業名	すべての子どもと母親に地域で居場所づくり事業
助成事業の種類	SDGs 推進事業 平和
1. 事業の目的	<p>昨年度、同事業で「すべての子供に地域で学習支援事業」実施しました。協力者・支援者が増え今年度、児童養護施設での学習支援の拡大が出来ました。放課後の小学生居場所づくりでは昨年度の実績から小学校の空き教室を借りられ活動出来ています。地域の協力者も広がりました。昨年度の反省点として子どもだけでなく母親からの相談も多く子どもを取り巻く母親や家族の支援も必要だと感じました。今年度、<b>産前産後の居場所</b>づくりを実施しました。</p> <p>また、夫婦共稼ぎ世帯が増える中、放課後や長期休暇中、小学生の居場所が大変少ない。昨年に引き続き学習支援や体験学習を地域でサポートし様々な大人と関わる事ができる<b>子どもの居場所</b>を作りました。</p> <p>特に不登校のお子さんに力を入れ学校と家庭以外で子どもが安心して過ごし学習に取り組める居場所(サポートできる場所)が必要と<b>不登校のご家庭の居場所</b>づくりを実施。</p> <p>すべての子どもと母親に地域で安心安全に体験学習や勉強の機会を提供できる居場所を創設しました。</p>
2. 事業で取り組んだ地域や社会の課題	<p>不登校の居場所づくりはお子さんの気分の変化があり、当日キャンセルやなかなか第一歩が踏み出せない難しさを感じる。個人情報保護から横との繋がりも難航。</p> <p>小学校に案内を配布したいが教員の働き方改革もあり依頼が難しい状況がある。</p> <p>まだまだコロナやインフルエンザの流行がある11月、1月、2月は参加者のキャンセルや変更も相次いだ。</p>

3. 取り組んだ事業  
の具体的な内容・  
実施結果

- (1) 不登校・障害をもったお子さんと家族に学習及び体験学習を実施  
(2) 妊娠中から孤立させない産前産後の子育て支援  
(3) 地域で小学生が休日、放課後、学習・体験する居場所づくりを実施

時期	内容
7月21日	【夏休み子どもの居場所づくり】 お寺で座禅・フラワーアレンジメント・夜の探検 7月23日 火起こし体験・自然散策 7月27日 茶道・クリーンセンター見学 7月28日 清掃センター見学
8月1日	
8月8日	
9月3日	
9月5日	子どもの居場所づくり（落花生収穫） 産前産後居場所づくり 不登校・障害をもった子の居場所づくり 放課後の居場所づくり 母親の居場所づくり 母親の居場所づくり
9月12日	
9月14日	
9月19日	
9月26日	
10月3日	
10月10日	産前産後居場所づくり 不登校・障害をもった子の居場所づくり 放課後の居場所づくり 母親の居場所づくり 母親の居場所づくり
10月12日	
10月17日	
10月24日	
11月7日	
11月9日	産前産後居場所づくり 放課後の居場所づくり 不登校・障害をもった子の居場所づくり 母親の居場所づくり 子どもの居場所づくり（Xmas イベント） 母親の居場所づくり
11月14日	
11月21日	
11月23日	
11月28日	
12月5日	
12月12日	産前産後居場所づくり 不登校・障害をもった子の居場所づくり 母親の居場所づくり 放課後の居場所づくり 冬休み子どもの居場所づくりお正月飾り 母親の居場所づくり
12月19日	
12月21日	
12月22日	
12月26日	
1月9日	

	1月16日 1月18日 1月26日	母親の居場所づくり 放課後の居場所づくり 子どもの居場所づくり	
	2月2日 2月3日 2月6日 2月11日 2月13日 2月15日 2月20日 2月27日	放課後の居場所づくり 地域のお子さんに季節の行事、節分実施 産前産後居場所づくり 「居場所づくり感謝祭」イベントを実施 不登校・障害をもった子の居場所づくり 放課後の居場所づくり 母親の居場所づくり 母親の居場所づくり（中止）会場都合	
	○広報実績について ・妊婦および特に乳児を育てる家族に情報が届くよう、飯能市保健センターに案内チラシを配布 ・夏休み子どもの居場所づくりチラシ・感謝祭市内小学校に配布 ・メンバーSNSにて周知		
4. 事業実施により達成した成果の具体的な内容	子どもの居場所づくりでは他学校、異学年の交流が盛んにできた。地域の自治体会合などにも参加し協力者、議員とも繋がりがもてた。産前産後の妊婦への信頼関係が築けた。居場所づくりを実施し、母親同士の何気ない立ち話をする姿が多く見られた。コロナ禍でコミュニケーション不足が問題であったが、その機会を提供できた。 2月の感謝祭では子ども服などのリサイクル品を無償提供した。多くの方が持ち帰った。また持ってきてくれた。		
5. 費用面での工夫	出来るだけ計画に沿った支出を心がけた。参加者の変更などもあり難しかった。		
6. 地域社会への還元について	子どもの居場所づくりを手伝ってくれる地域の方が子ども達と関われるのを楽しみにしてくれた。 長期休暇中の宿題支援や体験学習を数多く提供できた。 産前産後の妊婦さんの心配事を解消する手助けができた。		
7. 来年度以降どう事業を継続し発展させていくか	今年度、活動し、子ども達から「コロナ禍で家庭科の調理実習がなかなかできない」「宿泊学習で飯盒炊飯をしていない」などの体験活動する機会が少ない事を聞いた。来年度以降も体験を含めた学習支援を続ける。防災に関する関心も強くなっている。今年度末、卒業する6年生を対象に小学校体育館で防災宿泊体験教室を実施する。来年度、さらに力を注ぎたい。スタッフも助成金申請の知識を学び様々な助成金を申請し活動を継続していきたい。		

# 事業収支計算書

法人名 特定非営利活動法人こどもエコクラブ飯能W

## 1 収入の部

項目	予算額 (円) A	決算額 (円) B	増減額 (円) B-A	備考
県助成希望額	500,000	500,000	0	
自己資金	26,726	20,375	-6,351	
事業実施による収入等	50,000	0	-50,000	
その他			0	
合計	576,726	520,375	-56,351	

## 2 支出の部

項目	予算額 (円) A	決算額 (円) B	増減額 (円) B-A	備考
会場費	25,600	23,400	-2,200	
通信運搬費	1,500	450	-1,050	
旅費交通費	1,500	0	-1,500	
消耗品費	190,730	153,359	-37,371	
委託費	17,796	14,996	-2,800	
謝金	123,000	99,000	-24,000	
人件費	194,000	215,000	21,000	
その他	22,600	14,170	-8,430	
合計	576,726	520,375	-56,351	